



いつものように、算数の問題を
考えることになる3人なのでした。



カムチャツカの大自然を
すっかり満喫したリョッピーたち
トロツキーさんに
ありがとうをいって、出発です。



「へえ、あつたまいな!」
「感動するリョッピー」を、
「リョッピーより頭いいかもね」
と、ブータンとおにいさんが冷やかします。

そんな3人に、トロツキーさんがいます。
「クマは、実は頭のいい動物なんだ。
足し算くらいならできちゃうんだよ。
たまに、十を逆にしちゃうけどね」
「まさか、トロツキーさんも算数好きなの?」
「ダー」

「ここを動かなければ大丈夫だよ。
それより、あのクマたちをみていて!」
みると、1匹のクマが川を
せき止めるように立って、
反対側に逃げようとするサケを、
もう1匹が器用に次々とつっていきます。



まちが 間違いをしたクマはだれ?

トロツキーさんの問題

タロ、ジロ、サブの3匹のクマが、3つの整数の足し算をしたんだ。タロは答えが21に、ジロは
答えが34に、サブは答えが55になったんだけど、うち1匹は計算間違いをしているんだ。さて、
間違いをしたクマはだれでしょう? +と-の間違いは仕方がないからゆるしてあげてね。

たとえば、 $2+15+3$ をうっかり $2+15-3$ って計算しちゃっても、
間違いとはいわないってことだね。

$2+15+3$ は正しく計算すると20、うっかりすると $2+15-3=14$

いろいろ「うっかりしてみると」いい!

そういうの得意! $7+20+8=35$ 、うっかりすると $7+20-8=19$!

うっかりすると、「-」にしちゃった右の数の2倍ぶん、正しい答えより小さくなるわね。

ちょっとまって! ってことは、正しい答えとうっかりの答えの差は偶数?

うっかりの答え同士の差も偶数だね!

じゃあ、21、34、55のうち、間違いの答え以外の2数の差は偶数だから、正しい答えは21と55!

ってことは、間違えたのはジロだね!

「さあ、新たな旅のはじまりだよ!」
リョッピー、ブータン、おにいさんの
3人がやってきたのは、
カムチャツカ半島の街、
ペトロパブロフスク・カムチャツキー。
巨大なロシア連邦の東端に位置する
カムチャツカの魅力は、
カナダにもおとらない壮大な自然です。
今日は、ガイドのトロツキーさんのものと、
自然公園を散策です。
「はるばるロシアへようこそ!」
今日はほかほかカムチャツカの
いろんな魅力を紹介するよ」
「よろしくお願いします」
リョッピーたちは元気に返事をします。



おにいさんの早わかり カムチャツカ半島豆知識



ユーラシア大陸の北東部にあるカムチャツカ半
島。南南西方向に伸びた半島で、面積はほぼ日
本と同じなんだよ。オホーツク海と太平洋の間
に位置しており、手付かずの大自然が残って
いて、半島の中央を分断するように世界遺産に登
録されている火山群がひしめいているんだよ。

中学入試問題にアタック!

A、B、Cの3人は、見た目は区別できませんがひとりが天
使、ひとりが悪魔、もうひとりが人間です。天使はいつも本
当のことしか言わず、悪魔はいつもウソしか言いませんが、
人間は本当のこととウソのどちらとも言います。いま、この3
人がそれぞれ次のように言っています。

- A「Bは人間です。」
- B「Cは悪魔ではありません。」
- C「Aは人間ではありません。」

このとき、A、B、Cは天使、悪魔、人間のうちだれですか。
(08年・大阪桐蔭・一部改)

Aが天使とすると、Bは人間、Cは悪魔となりますが、
このときCの発言が正しくなるので不合理です。Bが
天使とすると、Cは悪魔でも天使でもないので人間と
なり、Aは悪魔となり、このときつじつまはあいます。
Cが天使とすると、Aは人間でも天使でもないで悪
魔となり、Bは人間になります。このときAは正しい
発言をしているので不合理です。
よって、**Aは悪魔、Bは天使、Cは人間**とわかります。

「リョッピー世界をめぐる!」は、原則として毎月第2週にのります。